

マイバッグを持ち歩こう

マイバックを持ち歩こう

レジ袋を作り、ごみとして処分するためには多くの資源とエネルギーが必要になります。レジ袋は最終的にはほとんどがごみとして破棄されてしまいます。少しでもごみを減らすためには、ごみそのものを抑えていくことが重要になってきます。

滋賀県内の取り組み

滋賀県と県内各市町では、小売店と協力して、平成 25 年 4 月 1 日から、レジ袋の無料配布を中止して有料にする取組を始めました。平成 26 年 3 月 31 日までは県内の 27 事業者 181 店舗がレジ袋の無料配布を中止しています。

レジ袋を断った人の割合

彦根市内で取組を実施している店舗で買い物をした時、レジ袋の配布を断った人は、平成 25 年 3 月までは全体のおよそ半分でした。これが、翌年の 3 月にはおよそ 90%の人がレジ袋を断っています。

買い物をするときは、マイバッグを持ち歩き、レジ袋削減にご協力をお願いします。